

トルコ・シリア大地震 緊急支援

クラウドファンディング

報告書

2025.03



大地震で被災した 5,293 人に
命と生活をつなぐ緊急支援を届けました



クラウドファンディングへのご支援により…
2023年2月～4月のあいだに

- トルコ・ハタイ県 1,708人
—食料、水、調理器具など
- トルコ・メルスィン県 2,631人
—衛生用品、靴など
- シリア北西部 954人
—マットレス、ブランケット、調理器具など

大地震で被災した 5,293 人に
命と生活をつなぐ緊急支援を届けました





2023年2月6日、トルコ・シリア大地震が発生。

現地時間は午前4時17分、多くの方が寝ている時間帯でした。

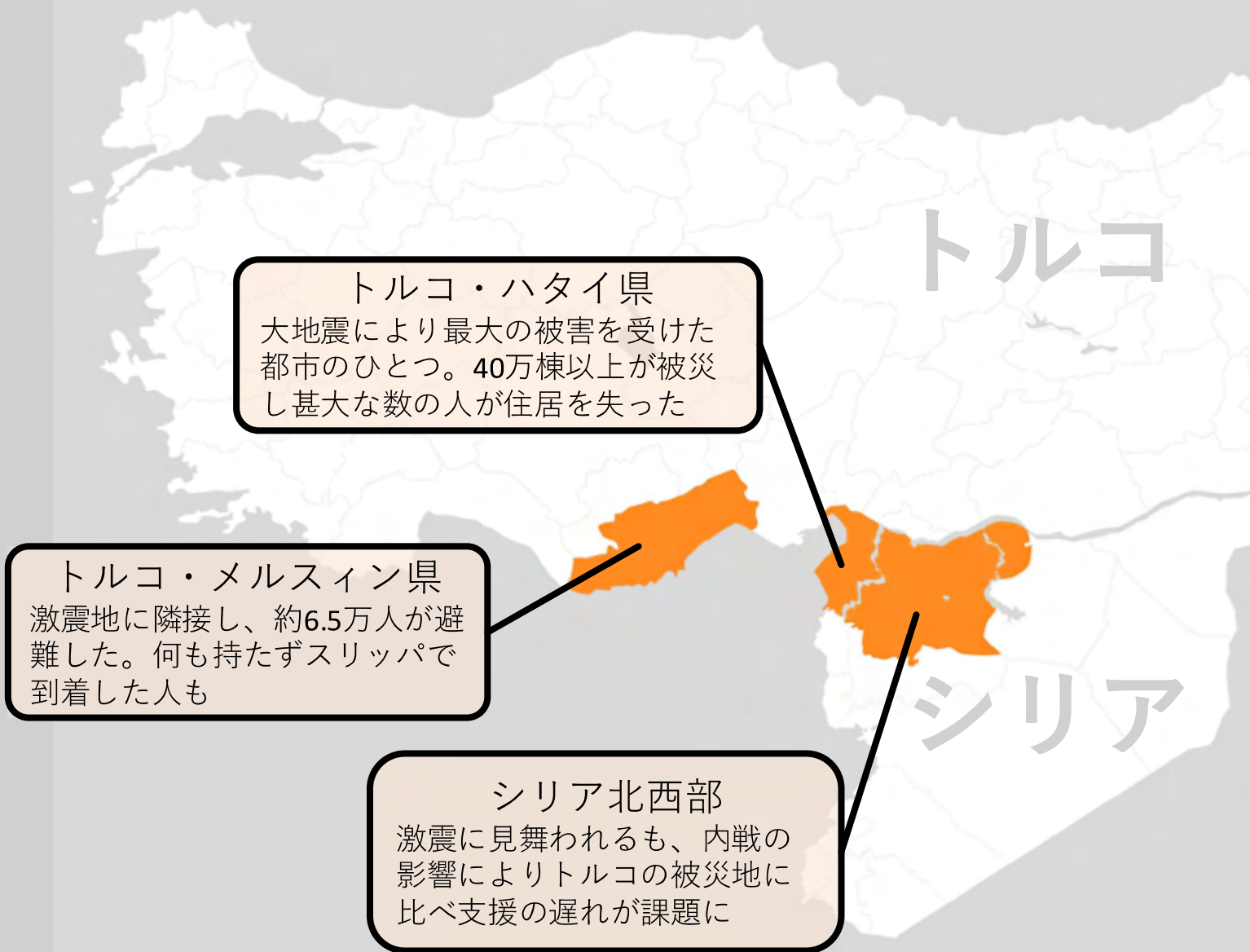
激しい揺れにより多くの家屋が崩れ落ち、数百万人が雪も降る厳しい寒さのなかに放り出されました。

REALsは翌7日に緊急支援の実施を決定、クラウドファンディングをはじめ1,000人以上の方から集まったご支援により、5,293人の被災者に支援を届けました。

ご報告とともに、支援を受け取った方たちからの声をお届けします。



REALsはご支援により、 トルコ・シリア両方での 緊急支援を実施しました



目次

p.4-9	緊急支援を受け取った被災者の声
p.10-12	支援を届けたスタッフからの感謝
p.13	収支報告
p.14	REALsのトルコ、シリアでの活動

緊急支援を受け取った人の声

トルコ・ハタイ県

激震により最大の被害を受けた地域のひとつ。40万棟以上の建物が被災するなか、住居を失った被災者1,708人（310世帯）に避難生活を生き延びる食料や水などを配布しました。

私は息子夫婦と2人の孫を地震で失いました。瓦礫のなかから救い出せたのは6歳の孫娘ひとりだけ



です。私の命がある限り、この子を育てていこうと考えています。支援をくださった皆さん、ありがとうございます。私たちを助けてくれたすべての人のために祈っています。

ハタイ県で被災した女性（上写真・右手前）



緊急支援を受け取った人の声

トルコ・ハタイ県

私はハタイで生まれ育ち、大地震で被災しました。
避難生活で必要としていた調理用具を、皆様のご支援
のおかげでREALsが緊急支援として届けてくれました。
支援を送ってくれた皆さんに感謝しています。

被災した男性・メフメトさん



▼大地震直後のハタイ県。約8万棟が被災し、24,000人以上が命を落とした。



緊急支援を受け取った人の声

トルコ・メルスィン県

被災地域に隣接するメルスィン県は約6.5万人の避難先となりました。シリア難民の被災者には頼った先もテント生活というケースもあり、衛生用品や靴など緊急に必要な物品を届けました。

私はハタイで被災し生き残りましたが、両親は崩れた階段の下敷きになり亡くなりました。夫と一緒にメルスィンに来てからもショックと深い悲しみは続いています。

そして着の身着のまま避難した私たちは、本当にたくさんのものを必要としていました。私たちに支援を届けてくれたすべての人に心から感謝しています。どうしても必要なものでした。日本の皆さん、思いやりをありがとうございます。

ハタイ県で被災し、メルスィン県に避難した女性



緊急支援を受け取った人の声

トルコ・メルスィン県

私たちが経験したことは、地獄のようでした。親戚の中には、がれきの下に取り残されたままになった人もいます。建物も壊れて何も残りませんでした。家の家具も、私たちが持っていた物もすべて、がれきとなってしまいました。

支援に本当に感謝しています。日本の皆さんに私たちがどれだけ感謝しているか伝えてくれますか？

激震地となったカフラマンマラシュ県で被災し
メルスィン県に避難した男性・イサムさん



いつも通り眠っていた時に、地面が揺れ始めて周りにあったすべてのものが落ちてきました。私たちが助かったのは奇跡だと思います。建物が崩れ落ちる瞬間が今も脳裏に焼き付いています。私たちは今も悪夢のなかにいます。私たちのことを考えて、支援してくれた日本の人たちに感謝しています。

激震地となったアンタキヤ県で被災し
メルスィン県に避難した女性・ルラさん

緊急支援を受け取った人の声

シリア北西部

内戦の影響により、被災地のなかでも支援の遅れ・不足が懸念されたシリア北西部で、テントなどでの避難生活で寒さから命を守るよう、マットレスやブランケット、調理器具などを届けました。

私は日本からの支援に感謝を伝えたいです。支援に参加し、シリアの人々や被災者に寄り添ってくれたすべての方に感謝しています。本当に愛のある行動です。

日本とシリアは遠く離れているけれど、私たちの間に兄弟を思うような愛があることを皆さんが示してくれました。地震によるひどい状況のなかでも、人生には良いことがあると知りました。あなたや、あなたのように行動する人たちに、神様のご加護がありますように。

シリア北西部で被災した男性・ハッジ・フレイジさん



緊急支援を受け取った人の声

シリア北西部

地震が起きたとき私は寝
て、突然家が揺れて目を
開けるとベッドから落ち
ていました。揺れが大き
く地面から起き上がり
ませんでした。夫が亡く
なってから私は一人暮ら



していましたが、近所の男の人が私を担いで2階にあった私の部屋から1階の玄関に連れ出してくれました。

今は他の地域に住む親戚のところに避難しましたが、私の家のように倒壊はしていないけれども、親戚の家にもひびが入っています。地震によって誰もが被害を受けました。

何も持ってこれなかったなかで、一番必要としていたのが寝るためのものでした。REALsの支援でマットレスやベッドシーツをもらい、本当に助かりました。支援を送ってくれたすべての人に感謝しています。皆さんの優しさが被災者にとっての支えになりました。

シリア北西部で被災した女性・アン・アマルさん

支援を届けたスタッフからの感謝

REALsの緊急支援にクラウドファンディングでご参加いただき、心から感謝いたします。

トルコ南東部の激震地ハタイ県では多くの建物が大きく崩れており、場所によっては辺り一面すべて建物が崩壊している状態でした。膨大な数の人が簡易なテント・コンテナに避難せざるをえず、支援は非常に不足していました。



トルコ事務所代表
(事業当時) 松本

日本の方々、なかにはお子さんからのご寄付も頂き、厳しい避難生活を送る被災者の方々に支援を届けられました。支援を受け取った方々からは多くの感謝の言葉を頂戴しています。また、たくさんの応援メッセージが被災地で活動する我々職員の励みになりました。心からの感謝をお伝えします。



支援を届けたスタッフからの感謝

被災者への支援を本当にありがとうございました。長い間特別な友好を育んできた日本の皆さまからの支援が、大地震に遭ったトルコの人たちにとって大きな希望となりました。

緊急支援に取り組むなかで被災した方たちから感じた最も強い感情は、喪失の痛みでした。大切な人、とくに近しい家族を亡くした人たちにとって、生きる気持ちを保つのはとても難しいことです。

そのなかで被災した人々は必死で前を向こうとしています。たとえばあるお母さんは、地震のあとに植えたピンク色の花に震災で亡くなった娘の名前を付けました。家族と右足を失った7歳の女の子は、子猫を育てはじめて友情を育んでいます。

地震の影響は甚大で、壊滅した地域もあり、何千もの家族がすべてを失いました。そうしたなかで皆さんから届いた支援が被災した方たちの力となりました。心から感謝しています。

人々は愛する人、夢、家、手足、そのほか多くのものを失いました。その影響を癒すには時間がかかるでしょう。経済的な支援だけでなく、震災で傷付いた心への支援も必要とされています。どうぞこれからもREALsの活動への応援とご参加をよろしくお願いいたします。



現トルコ事務所代表
チューバ

収支報告

クラウドファンディングにてご支援いただいた¥10,076,000を、
以下にて大切に使用いたしました。

ご支援の使い道		使った金額
緊急物資の配布費	トルコ・ハタイ	¥3,099,408
	トルコ・メルスィン	¥614,745
	シリア北西部	¥3,728,120
支援を担うスタッフの人件費		¥781,045
現地交通費		¥300,978
手数料（クラウドファンディング）		¥1,551,704
合計		¥10,076,000

REALsの支援でアフガニスタンからトルコに退避し、
震災ボランティアに参加した青年▼

REALsはアフガニスタン国外退避支援をしています。今回の地震を受けて、REALsの支援でトルコに退避したご家族に安否確認をしたところ「息子が震災支援ボランティアをしている」と写真を送ってくれました。

「REALsと退避支援に寄付してくれた日本の皆さんに救ってもらった命で、自分たちを受け入れてくれたトルコの人々を助けたい」

そんな想いを語ってくれました。



緊急支援のその先へ

命をつなぎ、平和をつくる



REALsは2015年からトルコで、2019年からシリアでシリア危機により避難生活を送る人々への支援活動を行っています。

2023年2月の大地震、そして2024年12月のシリア政権崩壊と、状況が激動するなか、REALsは危機下の人々がまずは命をつなぐための緊急支援や心のケア、また平和をつくるための共存の取り組みや平和の担い手育成などを続けてきました。

トルコでREALsの支援を受けた人の声

シリア危機で夫を亡くし、子どもたちと避難したトルコで必死に生きてきました。そこにまた大地震で被災して…絶えず不安に襲われ、REALsの心のケアがなければもっと深刻な状態になったかもしれません。



ナビダさん（仮名）・40代の女性

いま世界では第二次世界大戦以降最多の紛争が起きています。戦火が平和への願いをかき消すような現在だからこそ、平和への努力がより一層必要です。どうぞこれからもREALsの平和をつくる活動への応援をよろしくお願いいたします。

リーチ・オルタナティブズ

リアルズ

認定NPO法人Reach Alternatives (REALs)

リアルズは紛争地で危機にさらされた人の命をつなぎ、平和をつくるために活動する認定NPO法人です。

※REALsへのご寄付は寄付金控除の対象となります。

〒162-0802 東京都新宿区改代町26-1 三田村ビル203

お電話：03-5579-8395 FAX：03-5579-8396

ウェブサイト：<https://reals.org>

X @NPO_REALS

f NPOREALS

nporeal Instagram npo_reals

